

自他を大切にし、よりよい学級・学校生活を築こうとする児童の育成
～自主的・実践的な集団活動を通して～

第3学年 学級活動(1) 指導案

令和3年5月26日(水) 第5校時
第3学年2組 34名
授業者氏名

1 議題名 「もっとなかよくなるうの会をしよう」

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級は、男子18名・女子16名、計34名のクラスである。全体的に明るく活発で、休み時間にはほとんどの児童が校庭に遊びに行き、元気に体を動かしている姿が見られる。また、困っている友達がいれば声をかけて助けてあげられる優しさがある。一方で、自分の思いは強いが、相手の気持ちを考えて行動したり、友達と協力して活動したりすることが難しい児童が多いという課題もある。

これまでの学級活動では、学級目標や係活動について話し合いをしてきた。学級目標については、教師主導で話し合いを進め、どんな3年生になりたいかを一人一人が考えた。様々な意見を出し合って、最終的に「自分や友達を大切にする」「最後までやり遂げる」「進んで行動する」の3つに決定した。学級目標を決めたことで、「目標に向かってクラスみんなで心一つにして頑張りたい。」という気持ちが少しずつ芽生えてきている。係活動については、学級会で話し合いを行った。2年生までに各クラスで学級会を経験しており、子どもたちは学級会の流れや司会グループの役割などを理解していたため、第1回の学級会から輪番制で司会グループを回すことにした。「3年2組をより楽しいクラスにするために必要な係はどれか」について話し合い、7つの係を発足させた。3年生になってからの活動は少ないが、これまでの学級活動を通して、子どもたちは自分たちで話し合って決めたことを実現させることの楽しさを感じているようである。

本議題は、これから学級会で話し合い活動をしていくにあたって、話し合いたいことはないか、子どもたちに投げかけた時に出た意見をもとに選定した。「クラス替えをしたばかりでまだ名前を覚えていない子もいるから、お互いの名前と顔を一致させて、もっと仲良くなりたい。」という提案者の思いを司会グループからクラスみんなに伝えたところ、みんなも同じ気持ちだということが分かり、第2回の学級会の議題に決まった。もっと仲良くなるためには、自分だけが楽しめる会ではなく、クラスみんなが楽しめる会にすることが大切である。そのことを常に意識させながら、話し合い活動を進めていきたい。

3 目指す児童像に向けて

① 自分の思いや願いをもって、意欲的に取り組む子

学級をよりよくするためのアイデアを出す
提案理由に沿って、自分の考えをもち、学級の課題を自分事として考えていく
学年の終わりには、「学級のために〇〇ができた」と言える

学級会ノートの活用

- ・ 学級会の前に、何を話し合うのかを知り、事前に自分の意見を書けるようにする。
- ・ 司会グループがその意見を短冊に書き写し、挙手をして発言することが苦手な児童の意見も表出できるようにする。
- ・ 自信をもって話し合い活動に参加できるように、学級会ノートに意見を書けなかった児童や不明瞭な意見には、事前に教師から助言をしておくようにする。
- ・ 学級会の準備から実践後の振り返りまで見通せる学級会ノートを活用する。一人一人が活動を見通せるようにすることで、意欲をもって活動の準備に取り組んだり、次の活動に生かしたりできるようにする。

実践における役割分担

- ・ 集会活動を行うにあたり、全員が役割をもてるようにする。自分の役割に責任をもって取り組む経験や協力して進めていく経験を積み重ねる中で、日々の生活の中でも自分事として学級のことを考えられるようにしていく。

提案理由の練り上げ

- ・ 話し合いの中で、自分の意見を決めるのに、提案理由がとても重要である。提案理由について共通理解ができるように、事前アンケートやキーワードになる言葉について具体的に共通理解をはかる機会をもつ。今回は、「なかよく」に関して事前アンケートをとり、共通理解をはかった。

司会グループとの事前準備

- ・ 児童が主体的に進められるように、司会の手引きを用意する。
- ・ 事前の打ち合わせの際に、話し合いがどう展開するのか予想し、準備をする。また、担当の学級会を楽しみにできるようにする。
- ・ 話し合いで、司会グループが進め方で困ったときは、教師が司会グループに助言をする。その際、みんなにも聞こえるようにし、他の児童も話し合いの進め方を学べるようにする。
- ・ 司会グループを輪番制にすることで、自分事として考える機会を設定している。みんなの思いをどうまとめればよいのか、学級のために自分はどうしたらよいのかについて、思いや願いをもつきっかけにしていきたい。

② 自他のよさや差異を認め合い、大切にする子

自分や相手のよいところや違いが分かり、肯定的に受け止められる。

日常的に自他のよさを認める活動を行う

- ・ 帰りの会で、友達のよかったところやがんばっていたこと等を発表する時間を設け、日常的に自他のよさや差異に気付いたり認め合ったりできるようにする。

最後まで話を聞くことの徹底

- ・ どの意見も大事にされなくてはならないという思いのもと、自分と同じ意見でも違う意見でも、最後まで肯定的に話を聞くことを日常的に指導しておく。
- ・ 間違いや人と違う意見に対しても、発言したこと自体に価値付けをし、否定的な扱いにならないようにする。

意見の言い方の約束

- ・ 話し合いは、賛成意見を中心に進めていく。
- ・ 賛成・反対の立場を明らかにして、理由を述べる。
- ・ 相手を攻撃・批難しない言い方ができるように指導しておく。
- ・ 反対意見を言う場合には、その人でなく、その意見に対しての反対意見になるように指導する。

教師による価値づけ

- ・ 教師は、学級会の終末の言葉で、①司会グループの頑張り②フロアの児童の頑張り③活動への意欲等について、具体的に話をして価値づけする。教師の価値づけを通して、児童自身がめざすべき姿を具体的にイメージできるようにする。

4 事前の活動 ○司会活動 ●全体活動

日時・担当	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
5/14（金） 中休み	○議題の選定 ・議題案をいくつか選ぶ。 ・選ばれなかった議題案は、各提案者にどう伝えるか伝える。 ・司会グループは役割分担をする。	・議題選びの視点を念頭において、選定することを指導する。	◎よりよい学級（学校）生活をつくるために、進んで議題の選定をしようとしている。 （主体的に取り組む態度） 【提案カード、発言、観察】
5/18（火） 中休み	○活動計画の作成 ・提案理由を明確にする。 ・学級会の進行の仕方を確認する。	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師が設定する。 ・提案者の思いが学級全体の思いになるように、提案理由をしっかりと深める。	◎「もっとなかよくなる会の会」に向けた話し合いの進行の仕方等を理解している。 （知識・技能） 【活動計画、発言、観察】
5/20（木） 帰りの会	●議題の決定 ・自分の意見をもつように伝える。	・司会グループの提案のもと、クラス全員で決める。	◎よりよい学級（学校）生活をつくるために、進んで議題の決定をしようとしている。 （主体的に取り組む態度） 【発言、観察】
5/21（金） 宿題	●学級会に向けての準備 ・学級会ノートに自分の意見を記入する。	・提案理由や条件にあった意見が書けるように助言する。	◎「もっとなかよくなる会の会」に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。（思考・判断・表現）【学級会ノート】
5/24（月） 中休み	○学級会に向けての準備 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を短冊に書く。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるように助言する。	
5/25（火） 中休み	○学級会に向けての準備 ・学級会の進行の仕方を練習する。	・学級会のイメージをもって、練習ができるようにする。	◎司会・黒板記録・ノート記録の仕事内容を理解している。（知識・技能） 【活動計画・観察】

5 評価規準（第3学年及び第4学年）

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	楽しい学級活動をつくることの大切さを理解し、そのためのよりよい生活や学習の仕方などを理解している。	楽しい学級活動をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。

6 本時の活動

(1) ねらい

- ・提案理由に沿った意見を出し合っ、**「もっとなかよくなる会の会」**の計画を立てることができる。

(2) 展開

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
1 始めの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">議題:「もっとなかよくなるの会をしよう」</div>	
4 提案理由の確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3年生になってクラスがえがあった。自こしょうかいやクラスあそびを通して、少しずつクラスみんなのを知ることができたけれど、まだ名前をおぼえられていない子もたくさんいる。もっとなかよくなるの会をひらいて、おたがいの名前と顔をおぼえて、もっとなかよくなりたから。</div>	
5 決まっていることの確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 決まっていること ・6月3日(木)の6時間目 ・体育館 ・やることは2つ ・クラスみんなでできること </div>	
6 話合いのめあての確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">名前と顔がおぼえられるあそびはどれか、考えて話し合おう。</div>	
7 話合い 「何をするか」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの力で解決できるように話合いを見守る。 ・児童の発言や行動、表情、つぶやきなどを記録し、終末の助言に生かす。 ・自治的な活動の範囲を超えた場合は、助言する。 	<p>◎少数意見や反対意見、自分と違った意見も大切にしながら話し合っている。(主体的) 【観察・学級会ノート】</p> <p>◎話合いの進め方や約束を理解している。(知識・技能) 【観察】</p>
8 決まったことの発表		
9 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに、今回の話合いでの振り返りを記入させる。 	
10 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に児童の名前を挙げて称賛することで、児童に自信をもたせ、次回の学級活動への意欲をもてるようにする。 ・必要に応じて課題を投げかける。 	
11 終わりの言葉		

第2回 学級会ノート

司会グループ (B) はん

5 月 26 日 (水) 5 時間目

ぎだい	もっとなかよくなろうの会をしよう	
ていあん理由	3年生になってクラスがえがあった。自こしょうかいやクラスあそびを通して、少しずつクラスのみんなのことができたけれど、まだ名前をおぼえられていない子もたくさんいる。もっとなかよくなろうの会をひらいて、おたがいの名前と顔をおぼえて、もっとなかよくなりたいたから。 ていあん者 (小野寺玲奈さん)	
司会グループの役割	司会 大城さん/寺島さん	
	黒板記ろく 上田さん/宗形さん	ノート記ろく 長谷川さん
決まっていること	6月3日(木)6時間目に体いく館でやる ゲームは2つにする	

自分の意見・メモ

★ふりかえり (◎よくできた ○できた △もう少し)

①ていあん理由にそって考えることができましたか。	◎	○	△
②友だちの意見をよく聞くことができましたか。	◎	○	△
③自分の意見をもって、話し合うことができましたか。	◎	○	△
④これからの活動が楽しみになりましたか。	◎	○	△
感想：			

★活動をして…

【活動をして、楽しかったこと・よかったこと・学んだことなど】
【次に気をつけたいこと】